

2年生修学旅行

●11月20日～22日の3日間、2泊3日の日程で奈良、京都、大阪へ修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルス感染症の感染状況を心配しながら、祈るような気持ちで出発の日を待ち続けていた2年生でした。

●1日目の早朝に熊本空港を出発し、大阪伊丹空港へ向かいました。飛行機初体験の生徒たちも多く、ドキドキしながらの出発でした。

●無事に伊丹空港に着き、バスで奈良県に移動。最初の見学地「水平社博物館」では、人権講話を聴き、家族への感謝や誰もが尊重される存在であることを学びました。

●東大寺、薬師寺など、日本の歴史を感じながら、まるでタイムスリップしたような時間を過ごしました。実際に見て、聴いて、触れることでしか得ることができない貴重な学びを重ねることができました。

●2日目は班別行動で京都市内を巡りました。初めての土地で不安も多かったと思いますが、「分からないことは調べる、尋ねる」を合言葉にチームワークを発揮し、充実した時間を過ごすことができました。旅館に到着する予定時刻をほとんどの班がしっかりと守り、全員が無事に2日目の学習を終えることができました。

●3日間の学習の様子から、2年生の優しさや仲のよさをたくさん目にすることができました。きっと生徒たちにとっても良い思い出となったことでしょう。

●旅行の準備や健康管理、空港への送迎など、保護者の皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございました。



西中へ新風を

●12月13日(火)、生徒会役員改選に向けた立会演説会と投票を行いました。今年は8人の2年生、5人の1年生が立候補して、応援者とともに熱い思いを伝えました。

●役員の数数は2年生が「5」、1年生が「2」です。定数の約2倍の生徒が立候補してくれたことが嬉しく、頼もしく感じました。

●演説の内容も工夫されていました。生徒会役員として自分は何をしたいのかが、聴いている人に分かりやすく伝わるように表現されていました。演説のときの堂々とした、落ち着いた態度も印象的でした。

●新役員は投票結果によって決まりますが、まずは今回立候補してくれた人々たちを心から讃えます。自ら意欲をもって行動できたこと、それ自体に誇りを持つ価値が十分にあります。例え新役員とならなくとも、今回の経験は今後に向けて大きな財産になります。

●これから新役員の役職が決まります。どのような活動を創り出し、新しい風を吹き込むのか、期待しています。



自分にできることを ～4年連続受賞～

●本校のボランティアクラブ「れんこん」が、「第26回ボランティア・スピリット・アワード『コミュニティ賞』」を受賞しました。文科省や日本赤十字社が後援する全国規模のボランティア活動支援の催しで、嬉しいことに、本校は4年連続しての受賞となります。そうした団体は決して多くありません。

●クラブ「れんこん」は少ない人数にもかかわらず、学校内外の環境美化、村内福祉施設や一人暮らしのお年寄りとの交流を行ってきました。ボランティア精神に基づく継続的な取組が模範的であると評価されました。

●まずは、この受賞を喜びたいと思います。そして、こうした活動が続き、広がることを願っています。

